

EU Indicators

欧州経済指標コメント：4月ユーロ圏PMI指数(速報)

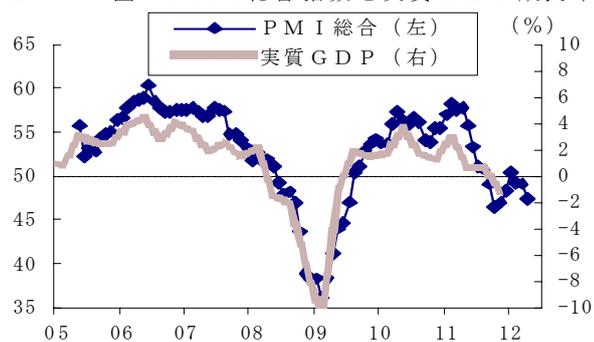
発表日：2012年4月24日(火)

～4-6月期入り後もマイルド・リセッションが継続していることを示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

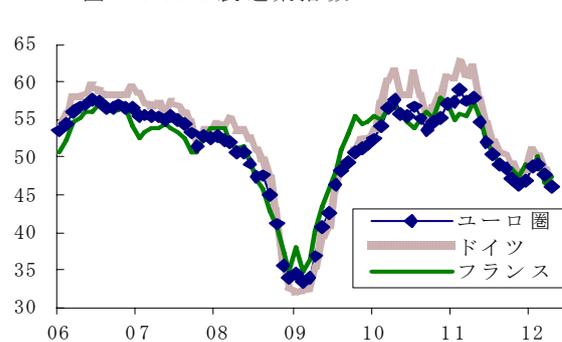
- 4月のユーロ圏のPMI総合指数は前月：49.1→今月：47.4と悪化幅が拡大した。1月に5ヶ月振りに業況判断の分岐点(50)を上回った後は3ヶ月連続で50割れ。40未滿に落ち込んだ2008-09年の世界的な景気後退期に比べると遥かに軽微ながら、昨年10・11月の今次景気減速局面のボトムに近付いている。ユーロ圏では4-6月期入り後もマイルド・リセッションが継続していることが示唆される。
- 国別・業種別には、製造業指数がドイツ・フランスともに2ヶ月連続で50割れ、サービス業指数が雇用改善が続くドイツが底堅い一方で、フランスが大統領選を巡る不透明感も加わり5ヶ月振りに50を割り込んだ。その他のユーロ圏は、製造業・サービス業ともに悪化。年明け以降、その他ユーロ圏の悪化ペースが幾分和らいできたが、今月は昨年末以来の水準に悪化ペースが加速した。
- ドイツはサービス業指数の改善に支えられ、総合指数が辛うじて50を上回っているが、製造業指数の悪化ペースが加速した点に意外感がある。20日に発表されたIfo業況判断指数は、現況判断・先行き判断ともに前月から小幅改善し、緩やかな景況改善を示唆していた。ドイツのPMIは総合指数よりも製造業指数に市場の注目が集まるため、サービス業の改善に支えられたIfo指数との乖離はヘッドラインが示唆するほどではない。製造業指数の悪化は、南欧諸国向けの輸出受注の冷え込みや、企業の採用意欲の停滞が主因。雇用判断が2010年2月以来の50割れを記録するなど、これまでサービス業の改善を支えてきた雇用環境の先行きにも翳りが見られる点には注意が必要。

■ユーロ圏：PMI総合指数と実質GDP成長率



注：実質GDP成長率は前期比年率。
 出所：Markit、Eurostat

■ユーロ圏：PMI製造業指数



出所：Markit

■PMI指数(季節調整済み)

	2011				2012							
	2Q	3Q	4Q	1Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
ユーロ圏 総合産出指数	55.6	50.3	47.3	49.6	49.1	46.5	47.0	48.3	50.4	49.3	49.1	47.4
ユーロ圏 製造業PMI指数	54.9	49.3	46.8	48.5	48.5	47.1	46.4	46.9	48.8	49.0	47.7	46.0
ユーロ圏 サービス業業況指数	55.5	50.6	47.6	49.5	48.8	46.4	47.5	48.8	50.4	48.8	49.2	47.9
ドイツ 製造業PMI指数	58.1	51.1	48.5	49.9	50.3	49.1	47.9	48.4	51.0	50.2	48.4	46.3
ドイツ サービス業業況指数	56.5	51.2	51.1	52.9	49.7	50.6	50.3	52.4	53.7	52.8	52.1	52.6
フランス 製造業PMI指数	55.0	49.3	48.2	48.4	48.2	48.5	47.3	48.9	48.5	50.0	46.7	47.3
フランス サービス業業況指数	60.5	54.2	48.2	50.8	51.5	44.6	49.6	50.3	52.3	50.0	50.1	46.4

出所：Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。